



ちはYOSAKOI 2008

10月25日、26日に開催され、77チームが参加し、中央公園をメイン会場に、よさこい鳴子踊りを披露しました。勇壮な舞いに、観客からたくさんの歓声や拍手がわき起こっていました。

第3回 定例会のあらまし

平成20年第3回定例会が、9月8日から10月3日までの26日間の日程で開かれました。

この定例会では、補正予算、条例の制定、平成19年度決算など市長提出議案48件、議員提出議案9件(意見書6件)を審議し、討論(賛成=自由民主党千葉市議会議員団、新政ちば、公明党千葉市議会議員団、反対=民主党千葉市議会議員団、市民ネットワーク、日本共産党千葉市議会議員団)が行われ、平成20年度一般会計補正予算など12件については、賛成多数により、町の区域及び名称の変更など36件については、全会一致により、原案どおり可決・同意・認定しました。一方、千葉市生活保護受給世帯に対する通塾等に係る経費の助成に関する条例の制定については、賛成少数により、否決しました。

可決した主な議案

一般会計予算に28億9,600万円を追加

補正予算の主なものは次のとおりです。

- ・モノレールみつわ台駅のエレベータ整備
- ・小規模保育所などを整備するための補助制度の創設
- ・中小企業資金融資の預託金・利子補給

花見川区、稲毛区に保健福祉センターを新設

区役所近隣地にセンターを新築する工事を行います。(平成22年4月に開所予定)

- ・花見川区保健福祉センター新築工事
11億8,100万円
- ・稲毛区保健福祉センター新築工事
11億4,300万円

新港学校給食センターPFI特定事業契約

新港学校給食センターの建設・維持管理・事業運営を87億9,900万円に物価変動による増減額および消費税を加算した額の範囲内で契約します。(平成22年10月に供用開始予定)

モノレールの電力管理システムを更新

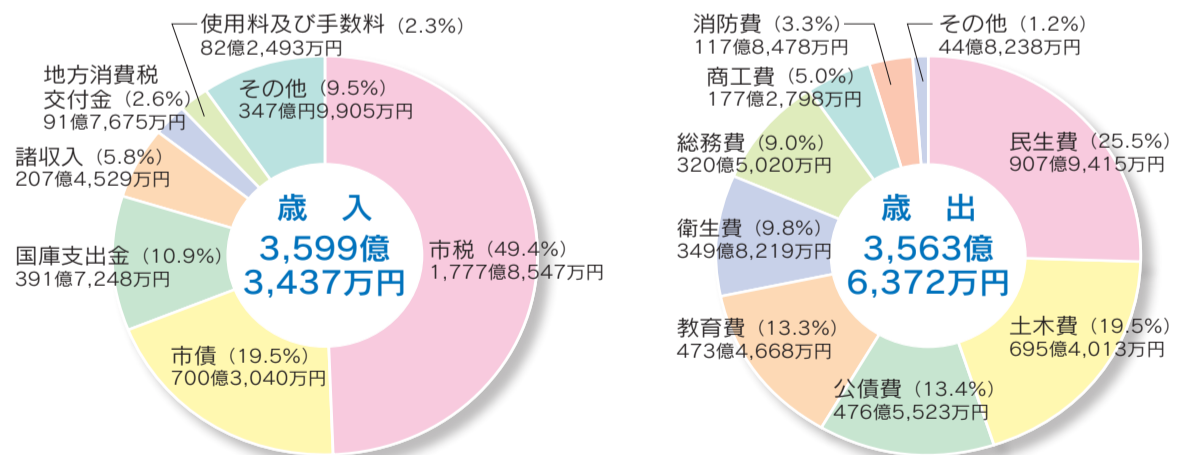
電力供給制御などを行うシステムの更新を千葉都市モノレール(株)に8億6,600万円を委託します。

平成19年度歳入歳出決算を認定

一般会計決算の概要

平成19年度決算は、歳入面では、市税収入が3年連続で前年度を上回りましたが、地方譲与税、地方特例交付金が減収となりました。また、歳出面では、投資的経費、公債費や生活保護費など扶助費が大幅に増加しました。

この結果、翌年度に繰り越すべき財源を控除した実質収支額は、3億584万円と極めて少額となっており、引き続き厳しい財政状況となりました。



財政健全化比率

平成19年度決算における健全化判断比率は、早期健全化基準を下回っています。しかしながら、**実質公債費比率**と**将来負担比率**は、比較的高い水準にあります。

(単位：%)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
千葉市の比率	—	—	19.6	311.6
早期健全化基準	11.25	16.25	25.0	400.0

(注) 実質赤字比率および連結実質赤字比率が黒字のため、「—」を記載。

町の区域と名称が変わります

住居表示の整備に伴い、町の区域と名称が平成21年2月2日から変更となります。

変更前	変更後
蘇我町2丁目の一部	蘇我3丁目
蘇我町2丁目、生実町の一部	蘇我4丁目
蘇我町1丁目、2丁目の一部	蘇我5丁目

注1 実質公債費比率：標準財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額などの割合の過去3か年間の平均値。数値が高いほど、財政の弾力性が低下することを示す。

注2 将来負担比率：標準財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額などの割合。数値が高いほど、将来財政を圧迫する可能性が高いことを示す。